

薬物乱用防止・食中毒予防 街頭キャンペーン

11月28日近鉄河内小阪駅周辺で実施しました！

近年、青少年を含む一般市民にまで薬物の乱用が急増しています。薬物の乱用による弊害は乱用者自身の健康を損なうだけでなく、家庭を崩壊し、また、各種犯罪の要因となるなど大きな社会問題となっています。これら薬物の乱用を防止するため、街頭キャンペーンを通じて薬物についての正しい知識の普及啓発を行います。また、冬期における食中毒等の食品による事故防止を図り、市民の健康保持と公衆衛生の向上および市民への食品衛生に関する知識の普及・啓発を行います。

キャンペーン開始に先立ち、平松協力会会長の挨拶、続いて、大阪食品衛生協会東大阪市西・中・東支部を代表して、粟飯原西支部会長の挨拶があり、来賓の方々を代表して、野田市長よりご挨拶をいただきました。

このキャンペーンは、東大阪市の後援を得て、東大阪市長をはじめ、東大阪市公衆衛生協会の会員及び大阪食品衛生協会東大阪市三支部の会員等、総勢70名により、午後2時半より啓発リーフレット及び啓発物品を配布して薬物乱用防止・食中毒予防を訴えました。

さらに、近鉄河内小阪駅周辺に薬物乱用防止・食中毒予防啓発のぼりを立て啓発しました。

